

令和4年5月30日
~~令和4年5月19日~~

関係所属長 様

群馬県柔道連盟
会長 鳥居吉二
(公印省略)

第77回国民体育大会柔道競技群馬県選手選考会（無観客試合）の開催について **訂正版**

標記の件を下記により、実施しますので貴管下の関係者の参加をお願い申し上げます。

記

- 1 主 催 群馬県 群馬県教育委員会 (財) 群馬県スポーツ協会
- 2 主 管 群馬県柔道連盟
- 3 後 援 文部科学省 (財) 日本体育協会 群馬県高等学校体育連盟
- 4 日 時 令和4年6月25日(土) 10:30 開会 審判・監督会議 10:00
- 5 実施種別 成年男子の全階級と~~成年女子の57kg級~~
- 6 会 場 ALSOKぐんま武道館 第1道場
前橋市関根町800 電話 027-234-5555
- 7 参加資格

(財) 全日本柔道連盟競技登録しており、令和3年4月30日以前から群馬県内に居住し、住民登録している者。大学生については、その卒業高校所在地（ふるさと登録をした者）または県内大学に籍があれば参加できる。ただし大学生についても、令和3年4月30日以前から群馬県内に居住し、住民登録している者とするので、下記の場合には参加資格がないものとする。

- (1) 群馬県内の大学に県外から通学している者。
- (2) 群馬県内の大学に県外から通学していて、群馬県内の高校を卒業しているが、ふるさと登録をしていない者。

《少年男子の部》

- (1) 全ての階級を強化部にて選手を推薦する。
- (2) 参加する者は、2004年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、中学生以下の生徒及び児童は参加することができない。
- (3) 選手は、先鋒（体重60 kg以下の者）次鋒（体重60 kgを超え73 kg以下の者）
中堅（体重73 kgを超え90 kg以下の者）副将（体重90 kgを超え100 kg以下の者）
大将（体重無差別）とする。

《成年男子の部》

- (1) 参加する者は、2004年4月1日以前に生まれた者で、一所属団体無差別級以外各階級4名までとする。また、無差別級は6名までとする。
- (2) 選手の配列は、先鋒（体重60kg以下の者）次鋒（体重60kgを超え73kg以下の者）
中堅（体重73kgを超え90kg以下の者）副将（体重90kgを超える者）大将（体重無差別）
とする。

《女子の部》

- (1) ~~成年の57kg級(次鋒)のみ予選を実施する。参加人数の制限はない。~~
~~原則、トーナメント戦とするが、参加人数によってはリーグ戦もあり得る。~~
~~また、申込状況によっては、強化部の推薦もあり得る。~~ とする。
- (2) 少年の52kg(先鋒) 少年の63kg(中堅) 少年の78kg(副将)と成年の無差別級(大将)については、強化部にて選手を推薦する。
- (3) 選手は、先鋒（体重52 kg以下の少年）次鋒（体重57kg 以下の成年）中堅（体重52kgを超え63kg 以下の少年）副将（体重63kgを超え78kg以下の少年）大将（体重無差別の成年）とする。 ※出場都道府県の実情に応じて次鋒、大将のいずれかを少年種別年齢域の者とすることも可能とする。

8 競技方法

- (1) 試合は最新の国際柔道連盟試合審判規定とする。
- (2) 試合時間は4分とする。
- (3) 勝敗の判定基準は「一本」「技有り」「僅差」とする。(僅差は指導差2とする。)
技による評価がない、又は同等の場合、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

9 選考方法

各部門とも選手については、本選考会の結果、並びに過去の戦績、実績を考慮して本選考会終了後、選考会において決定する。ただし、選考方法に異議が生じた場合、選考会終了後に再試合をする場合もある。

10 服 装

- (1) 柔道衣は、全日本柔道連盟柔道衣規格に適合した柔道衣(上衣、下穿、帯)とする。
- (2) 柔道衣は、白色のみを使用し、背部に下記の要領でゼッケンを各自で縫い付けること。
 - ① 布地は白色(晒太綾)で、サイズは横30cm~36cm、縦25cm~30cmとする。
 - ② 苗字を上部2/3、所属を下部に1/3にゴシック又は楷書で男子は黒字、女子は朱字で記載する。
 - ③ 縫いつけの場所は、後襟から5~10cm下部とし、対角線にも強い糸で縫い付ける。
 - ④ ゼッケンの重ね縫いは禁止する。

11 計 量 試合当日9:20~9:50まで男子は第1道場、女子は医務室で1回計量とする。
予備計量は9:05~9:20まで

12 表 彰 1位、2位、3位(2名)の計4名を表彰する。

13 組 合 せ 令和4年6月18日(土)15:00よりALSOKぐんま武道館第4会議室において強化部員にて行う。

14 参 加 料 一人 1,000 円(当日9:00の受付時に集金)

15 参加申込・問い合わせ先

出場選手は所定の申込書に必要事項を記入の上、令和4年6月13日(月)までに下記あてにEメール(Excelファイルにて手書きではなくデータを入力)と郵送(データ入力したものをプリントアウトし、所属長に押印する)の両方で申し込む。

〒370-3524 高崎市中央町654-9 黒田圭一あて

問い合わせ先 090-3098-6302(黒田携帯)

Eメールアドレス gunmajudo@gmail.com

※要項、参加申込書、健康状態申告書は、群馬県柔道連盟HPに記載する。

女子、少年男子の推薦選手も上記の期限までにEメールアドレスに参加申込をすること。
郵送はしなくてよい。

16 新型コロナウイルス感染症対策(別紙に記載)

本連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に関する本連盟主催大会等実施ガイドライン」に沿った対策を講じるとともに、細部については各競技団体作成のガイドラインや群馬県作成の「新型コロナウイルス感染用に係る県主催ガイドライン」に準じた万全の対策を講じること。

17 出 場

本選考会の各部門で選出された選手については、各部門に設けられた大会出場権を得る。
《成年男子》

第77回国民体育大会 10/8(土)~10/10(月)

宇都宮市 ユウケイ武道館(栃木県総合運動公園武道館)にて開催される大会に出場。

《女子・少年男子》

第77回国民体育大会関東ブロック大会 8/14(日)

東京武道館で開催される大会に出場し、出場資格を獲得すると本戦へ出場できる。

代表選抜チーム数は、女子5県、少年男子4県(栃木県を除く)とする。

18 そ の 他

- (1) 無断欠席者は、以後の一定期間本連盟の主催する大会に出場できない。
- (2) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守すること。
 - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは、不可とする。
(なお、至急、脳神経外科の専門医の精査を受けること。)
 - ③ 参集再会に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は、大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (3) 大会役員・監督・コーチ・選手の受付について
別紙「健康状態申告書」に必要事項を記入し、大会受付場所へ各所属ごとに提出する。